



# 2023年 評価

## ① WWF ジャパン チェックリスト評価

確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。

チェックリスト評価	樹種	国名	使用比率(%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合板	ダグラスファー	カナダ	17.06%	67.5	B
	スギ	日本	4.01%	69.1	B
	ヒノキ	日本	3.36%	74.3	B+
	クルイン	インドネシア	2.64%	100.0	S
	カラマツ	日本	1.90%	68.8	B
	カポール	インドネシア	1.08%	57.9	C+
	オクメ	カボン共和国	0.05%	57.9	C+
	計		30.10%	71.0	B+
芯材	スプルース	フィンランド	30.95%	80.2	A
	ホワイトウッド	スウェーデン	5.16%	70.7	B+
		フィンランド	2.87%	71.1	B+
		ドイツ	2.13%	77.4	B+
		スロベニア	0.24%	77.4	B+
		オーストリア	0.09%	77.4	B+
	トドマツ	日本	4.18%	63.4	B
計		45.62%	76.9	B+	
LVL	ポプラ	中国	5.46%	71.0	B+
	スギ	日本	2.41%	43.9	C
	カラマツ	日本	2.16%	61.2	B
	ハイマツ	カナダ	0.04%	71.0	B+
計		10.07%	62.4	B	
集成材・その他部材	ホワイトウッド	フィンランド	7.39%	69.8	B
		スウェーデン	1.87%	65.7	B
		ドイツ	0.08%	77.4	B+
	トドマツ	日本	3.64%	65.3	B
	スプルース	フィンランド	1.23%	79.0	B+
計		14.21%	68.9	B	
総合計		100%	72.5	B+	

## ② WWF ジャパンのコメント

ミサワホーム株式会社の2023年度の木材調達では、2022年に始まったロシア・ウクライナ危機によりロシア材が禁輸となり、国産材をはじめとする代替材の調達が増えました。以前調達されていたロシア材はFSC認証材でもあったため、国産材をはじめとする代替材の活用によって認証材比率が下がり、結果として若干のポイントダウンにつながってしまいました。やむを得ない側面も大きいと考えられます。日本の国産木材は、熱帯産の木材等に比べて森林破壊リスクは低いといわれますが、認証材の普及率は先進国の中で最も低い水準にあります。そのような状況下でも低リスクな国産材を活用するため、独自に森林組合を訪問し森林経営計画書や伐採現場の確認をしたり、仕入先にも森林経営計画書の確認を要請されていることは、国産木材市場全体のデュレリジェンスの質の底上げにつながるものと考えます。今後はさらに、国産材のお取引先様に対し認証材を求めていかれることを期待します。宜しくお願い致します。